

「バイクと社会」 5

ライフスタイルとバイク ーバイクに乗るのは、難しい？ー

バイクに乗ることは、意外に難しいことです。バイクの操作が難しいという意味ではありません。免許を取って、バイクを買って、趣味として乗ることが難しいのです。

新しく会った人や、知り合いと話しているときに、バイクの話になることがあります。私が「趣味はバイクです」と言うと、「私も昔、バイクに乗りたかった」と言う人がいます。「乗りたかった」というのは、「乗らなかった」「乗れなかった」ということです。

バイクに乗るには、まず免許が必要です。バイクには、小さいバイクから大きいバイク、スポーツモデルからオフロードモデルまで、いろいろな種類があります。日本では、エンジンの大きさによってバイクが分けられていて、免許も違います。

<エンジンの大きさ>

50cc まで

50cc から 125cc まで

125cc から 400cc まで

400cc 以上

<バイクや免許の呼び方>

原付

小型

中型

大型

※呼び方は、法律で決まっている呼び方ではありません。一般的に呼んでいる呼び方です。

自動車の免許を持っている人は、原付バイクにも乗れます。小型より大きいバイクに乗るためには、それぞれの免許を取らなければなりません。ただし、大きい免許があれば、それより小さいバイクに乗ることができます。大型の免許を取ると、全部のバイクに乗ることができます。しかし、最初に大型の免許を取ることは、できません。大型の免許がほしい人は、まず中型の免許を取って、それから大型の免許を取らなければなりません。

趣味としてバイクに乗る人は、ふつう中型の免許を取ります。自動車学校という特別な学校に行って、免許を取ります。何も免許を持っていない人が中型の免許を取るとき、費用はだいたい 15 万円ぐらいで、時間は 20 日ぐらいかかります。お金も時間もかかるので、簡単ではありません。

免許を取ったら、バイクを買います。中型バイクの値段は、新車で 50 万円から 100 万円ぐらいで、中古（他の人が売ったバイク）で 20 万円から 80 万円ぐらいです。保険にも入らなければなりませんし、税金もあります。趣味のものに、そんなにたくさんのお金を払うのは、大変なことです。

バイクを買ったら、置く場所を考えます。盗まれたり雨でぬれたりしないように、大きいカギをかけた

り、カバーをしたりします。バイクは車より小さいですが、自転車よりも大きいです。大きいカギをかけたり、カバーをしたりすると、思ったより広い場所が必要になります。日本の家は大きくないので、バイクを置く場所を探すのも、大変です。

このように、バイクに乗り始めるだけでも、お金や時間や場所や手間がかかります。このようなハードルを越えられない人が、「私も昔、バイクに乗りたかった」と言うのです。

せっかくバイクに乗り始めても、乗り続けるのは、もっと大変です。

人は年を取ります。年を取ると、環境も変わります。たとえば、大学生のときにバイクを買った人も、仕事を始めると、バイクに乗れなくなるかもしれません。結婚をするときに、パートナーがバイクに乗ることに反対するかもしれません。子どもができたら？引っ越しをしたら？仕事が忙しくなったら？…。人生のいろいろな場面で、バイクに乗り続けられるか考えなければなりません。

だから、バイクに乗ること、乗り続けることは、難しいのです。難しいことをしているからこそ、「共犯者意識」がより強くなるのでしょう（「共犯者意識」のことは、「ライダーの共犯者意識」を読んでください）。

(1393 字)

(2020.12 Written by Toru YOSHIKAWA)



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例) 出典: 「たどくのひろば」 (<http://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use this work, please indicate the source as in the example above.